

怒の家
土画

米山朴庵展

会 期 6月3日(木)～7月28日(水)
 開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
 入館料金 一般 300円(210円)
 高校・大学生 200円(140円)
 小学・中学生 100円(70円)
 (内は、20名以上の団体料金)
 都留市博物館 ミュージアム都留
 ☎(45)8008

米山朴庵は、元治元年(一八六四)九月二十九日、山梨県南都留郡境村無番戸(境下屋敷隣家)に父天野栄衛、母かくの次男として生まれました。
 明治五年(一八七二)八歳の時、境村の米山喜七の養子となり、尋常小学校を卒業し、その後、滝和亭に弟子入りしています。滝和亭は、天保三年(一八三二)に江戸千駄ヶ谷に生まれ、山水花鳥画にその技を示し、明治二十六年には帝室技芸員を拝命しています。滝和亭の作品は、千葉県野田市に多くありますが、醤油醸造業者(現キッコーマン(株)茂木七郎右衛

門宅に寄寓して絵を描き、その後も親交を続けた関係で朴庵もその供をしては茂木氏宅を訪れ、以後親交を深めていきました。
 和亭は、明治三十四年六十九歳で亡くなりましたが、病床にあるとき未完成の絵が気にかかり弟子の中から朴庵を指名し、その絵を完成させたという逸話があり、いかに朴庵が師に信頼されていた画家だったのかということがわかります。和亭没後も朴庵は遺族の世話をしていられしく、和亭の絵や調度品を持参しては買い求めてもらったということです。
 朴庵は、大正初年に茂木氏宅の



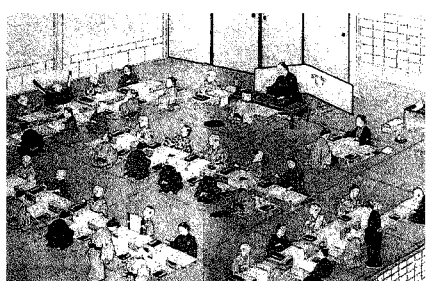
キッコーマン(株)社長 茂木氏より寄贈された米山朴庵一幅の掛軸「威震八荒」の図

ミュージアム寺子屋
 ニニ開講

都留市博物館「ミュージアム都留」では、今年度事業として寺子屋講座の寺子を募集します。今まで、歴史教室に通われていた方はもちろん、新たに歴史を勉強してみたいと思っっているあなた、この機会に寺子としてミュージアム都留で学んでみませんか。

講座内容
 ◆寺子屋歴史教室

都留市内に点在している石碑を中心に、拓本を取ります。拓本の道具作りから、取り方、保存方法まで、丁寧に教えていただきます。
 開講日時 6月から10月までの5回シリーズ
 毎月第三日曜日
 午前10時から正午まで
 講師 渡辺 長重さん



担していただけます
 (年間1000円程度)
 募集人数 20名程度

寺子屋開講式
 ▼6月20日(日)午前10時から
 ▼開講式終了後講義があります
 会場 ミュージアム都留
 研修室・企画室
 参加料 資料代として実費を負
 募集受付・問合せ
 都留市博物館ミュージアム都留
 〒402-0053
 都留市上谷1-5-1
 (45)8008・8608